

シート番号	3203-01	名 称	武蔵板碑
分 類	供養塔	場 所	坂田 寺家坂共同墓地
小 分 類	その他供養塔	メッシュ番号	1522
年 号	年紀不明		
形 状	自然石型 石材：緑泥片岩		
サ イ ズ	高：54 c m、		
画像番号	3203-01-01		



(碑文風化)

コメント；武蔵板碑（むさしいたび）は秩父青石と呼ばれる緑泥片岩を用いたもので、塔婆の一種だといわれます。一般的な形状としては、頂上を山形に作り、その下に二段の切込みと額部を作り、身部は上下に広く作られています。供養の対象となる本尊を仏像または梵字の種字で表し、その下に造立の願文、願主名、年紀を刻んだものが多いです。鎌倉時代の終わりごろに発生し南北朝の中期頃が最盛期を迎えましたが、その後衰退しました。君津市史によりますと、市内では5基が見つっていますが、そのうちの1基が坂田寺家坂墓地にあります（参考：君津市史）。年代は14世紀頃のものと思われます。